

5月18日 忠岡を変える

誰もが幸せに暮らせる忠岡町を

これえだ綾子物語

学生の頃の活動が原点



学生自治会、寮自治会で学生の要求実現の運動の先頭に。サークルは、障害児保育問題研究会に所属。自閉症など障がい児の発達保障についてみんなと学び、「誰もが幸せに暮らせる社会を作りたい」と強く思いました。

医療の経験を議員活動に活かし



卒業後、耳原総合病院（堺市協和町）に就職。国の医療制度改悪が患者さんを苦しめていることを目の当たりにしました。

その経験を活かし、「国保料・介護保険料の引き下げを」「介護保険制度の改悪を許さない」と議会で質問・論戦を行ってきました。

子育て・介護を経験

27歳で議員になり、出産・子育てをしながら、子育て世代の声を議会質問し、子ども医療費助成の18歳まで拡充、学童保育を両小学校での実現、中学校給食の実現など、9期33年間、子育て世代、女性の声を議会に届けました。

父の介護などを経験し、障がい者、介護保険制度の改善にも取り組んできました。



これえだ綾子



物価高から暮らしを守る
住み続けたい忠岡へ

明るい住民本位の忠岡町政をつくる会

No.20 2025年4月26日 共同代表 高迫千代司 TEL 33-4465

住民の声で動く町政へ



4つの提案

1. 20億円の基金を使い、物価高騰から暮らしを守る

- ・上下水道料金の引き下げ
- ・小中学校の給食費無償化、保育料・こども医療費も無償に



2. 安心・安全、住み続けられる忠岡

- ・高い国民健康保険料の負担軽減、こどもの均等割の廃止
- ・介護保険料の引き下げ
- ・避難所の確保、民間住宅の耐震化、大雨対策の強化



3. 清潔・公正な町づくり

- ・町の公共事業の入札は、最低制限価格の事前公表で、官製談合を防止



4. 住環境を守る行政に

- ・住民の健康と環境を守るため、産廃焼却施設誘致計画を白紙撤回。ごみ処理は広域化を目指します。

忠岡町政を 一緒に 変えましょう!



20億円の基金を活用して、 住民の暮らしを支えます

忠岡町の財政は既に好転。令和5年度は、5億1千万円も基金に積み増して、20億円も貯め込んでいます。しかし、前町政は「お金がない」と言い、物価高騰で苦しむ住民の声に背を向けています。こんな冷たい町政から、住民の暮らしを支える町政に変えましょう。



住民参加でこそ まちの活性化ができます

対話型の各地区を回っての「住民懇談会」を開催

駅前の空き店舗や空き家が目立ちます。賑わいのあるまちづくりは、消費者や事業者が一緒になってこそ。住民参加の「まちづくり委員会」など設置。

